

証券市場新聞

1 第130号

日経平均株価
2万2450円79銭
▲13円78銭(前日比)
TOPIX
1771.70
▼3.95(前日比)

2018
5/28
月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心齋橋ビル6F
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861
marketpress.jp



訪日客数過去最高ペース インバウンド一段の拡大に期待



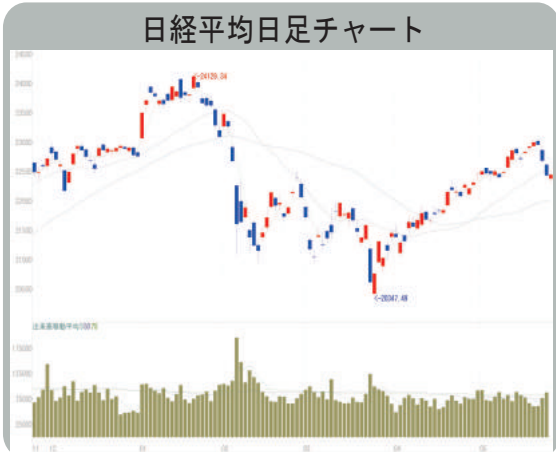
今年も多くの外国人観光客が訪れている

分析している。訪日旅行市場を取り巻く環境は日々変化しているが、今後の動向を占ううえで注目されるのが円安。3月26日には104円55銭まで円高が進んでおり、状況でも訪日外国人観光客が伸びているが、直近の110円台は観光客には資金面で余裕が生まれることになる。今後、サマーバカンスに向けて日本を訪れる外国人客は更に増えることになりそうだ。航空大手2社の日本航空(920)とANAホールディングス(902)はもとより、JAL、LUX

4月の訪日外国人客数は前年同月比12.5%増の290万1000人で、これまで過去の最高である2017年7月の268万2000人を突破、4月までの累計でも最も早いペースで1000万人を超えている。JENTOでは航空路線の新規就航や増便、チャーター便の運航に加えて春の魅力に訴求する訪日旅行プロモーションの効果も表面化していると見られる。

急速に進んだ円安追い風に

日本政府観光局(JENTO)が5月17日に発表した訪日外国人客数は、今年1〜4月までの累計で1051万9000人と、これまでで最も早いペースで1000万人を突破した。5月以降の動向を占ううえで、追い風になりそうなのが、3月下旬の1ドル104円台から直近で110円台と急速に進んだ円安。自国通貨の価値上昇で訪日外国人が更に増える可能性は大きく、主要観光地でビジネス展開するホテルや小売などの関連銘柄には一段の業績拡大が期待されそうだ。



(2729)や空港施設(8864)、日本空港ビルデング(9706)の空港施設関連の更なる収益拡大は確実で、土産物では寿スピリッツ(2222)、帝國ホテル(9708)、ロイヤルホテル(9713)、京都ホテル(9723)、世界遺産となった富士山周辺の絡みで富士急行(9010)、関西系では京阪ホールディングス(9045)や近鉄グループホールディングス(9041)などが注目されよう。

今週の動意銘柄

キリン堂HDは最高値

今期大幅増益を改めて好感

週明け21日、キリン堂ホールディングス(3194)が急伸、最高値を更新した。郊外型ドラッグストアを軸に、関西地域でドミナント展開を推進、新規出店に加えて既存店活性化に向けた数々の取り組みが奏功し、19年2月期は営業利益で25億8000万円(前期比33・2%増)と前期に続き大幅な

増益を見込んだことを改めて評価。新POSレジ導入により、精算業務などバックオフィスの作業の効率化が進む一方で通販ショップの収益貢献も期待される。

チヨダウ営業利益7.5倍

21日、チヨダウ(5387)がストップ高。同社は18日の取引終了後、19年3月期の連結業績予想を発表、売上高は325億円(前期比2・8%増)、営業利益は5億円(同

7・5倍)、純利益は4億円(同67・2%増)と大幅な増益を見込んでいることが好感された。

石膏ボードの市場規模が頭打ちとなることが見込まれる中、安定した収益を確保し、強靱な企業基盤を確立することを目的に、営業・製造・物流などの各分野で社内横断的なワーキンググループを立ち上げ、ソリューション活動に取り組んでいる。今後は、特に営業・製造・物流の3分野で、具体的に取組む戦略を明確化し、収益体質への改善を目指していくという。

MS&AD急反落

21日、MS&ADインシュアランスグループホールディングス(8725)が急反落。19年3月期の連結経常利益は2950億円(前期比39・4%増)を見

込んだが、18年3月期は北米ハリケーンなど海外大規模災害発生による保険金の影響で、2115億円(同40・0%減)と大幅減益で着地したことが嫌気された。同時に1000万株を上限とした自社株買いを発表したが、反応は限られた。

正直いいさんの株で大判小判

25日の東京市場は下げ止まる動きとなりました。22日からの暴落相場でも多くの個人投資家に不安感が高まっていたところ、トランプ米大統領が米朝首脳会談中止を表明、その直後に225先物のナイトセのナイトセ0円まで暴落。その後、ともにも急常取引で東京市場が落ち着いた動きになった。料出尽くしまでの残りセッションで付けた2万2080円を日中取引で意識すませんが、仮に絶対の拾い場とピックアップト(6553)が連日で最高値を更新しました。引き続き強い動きを見せている銘柄の下値を拾い、噴き値を待ちたいと考えています。

花咲翁



ブライトパス3日連続S安

22日、ブライトパス・バイオ(4594)が3日連続ストップ安。17日取引終了後に、富士フィルムへ導出

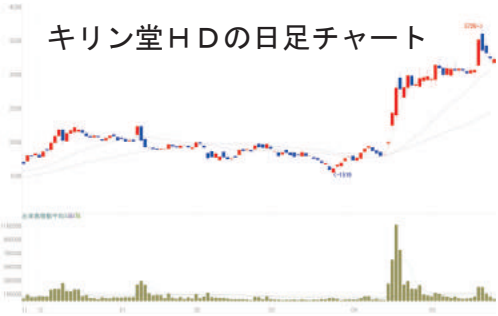
ついて開錠を行った結果、主要評価項目を達成できなかったと発表したことを引き続き嫌気。21日付でITK1と同様に臨床試験段階にあるパイプラインとし

たが、がんペプチドワクチンITK1の前立腺がんに対するプラセボ対照第Ⅲ層2重盲検比較試験に

岡藤HD日産証と提携

22日、岡藤ホールディングス(870

5)がストップ高。日産証券と商品先物部門と金融商品取引部門での業務提携、中国や東南アジアを中心とした海外の商品先物も開拓、日産証券に岡藤ホールディングス普通株式200万株を割り当てると発表した。



キリン堂HDの日足チャート

きちりが急騰

イズミ・フードとFC契約

22日、きちりが急騰。同日の取引終了後、イズミ(8273)のフード事業を担うイズミ・フード・サービスとフランチャイズ契約を締結すると発表されたことが材料視された。イズミ・フード・サービスをブランドとして、石窯焼ハンバーグを提供する「いしがまやハンバーグ」業態をイズミが運営する商業



施設内に展開することを目的としている。22日、ペガサスミシン製造(6262)は大幅高で年初来高値を更新した。21日に提出された大量保有報告書で英ファン

23日、シグマクス(6088)が大幅下落。筆頭株主の三菱商事(8058)による673万2000株の売り出しと、オーバーアロットメントによる上限10万9800株の売り出し、SMBCC日興証券に対する上限100万9800株の新株式発行を行うと発表したことで、需給圧迫と株式価値希薄化を警戒した売りが先行した。手取り概算額上限は15億5482万円で、コンサルタントと学生採用費、教育研修プログラムなど人件費や

ドのハイクレア・インターナショナル・インベスターズ・エルピーが17日時点で5.03%を保有していることが判明。需給思惑から買いを集めた。保有目的は長期投資による受取配当金という。

シグマクス需給圧迫警戒

23日、シグマクス(6088)が大幅下落。筆頭株主の三菱商事(8058)による673万2000株の売り出しと、オーバーアロットメントによる上限10万9800株の売り出し、SMBCC日興証券に対する上限100万9800株の新株式発行を行うと発表したことで、需給圧迫と株式価値希薄化を警戒した売りが先行した。手取り概算額上限は15億5482万円で、コンサルタントと学生採用費、教育研修プログラムなど人件費や

23日、AppBankストップ高

教育研修費に充てる。AppBankストップ高

23日、AppBank(6177)がストップ高。6月中旬に新サービス仮想通貨配付コンテンツプラットフォーム「@BLAST(アットブラスト)」の提供を開始すると発表。これを好感した。ゲームやエンターテインメントを中心に様々なコンテンツを通して、仮想通貨を配付するWebサービスプラットフォームに追加、オンラインでもイベントを開催する。

先進技術で豊かな未来を——

+ 技術力

立花エレテックは電機・電子の「技術商社」です。
トータルソリューションで価値ある未来を創造します——。

未来指向というチカラ。

設備ソリューション

半導体ソリューション

FAソリューション

ITソリューション

受託製造ソリューション

環境・省エネソリューション

グローバルネットワーク

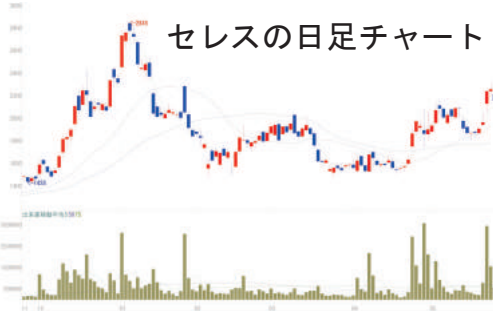
電機・電子技術商社のリーディング・カンパニー。

株式会社 **立花エレテック**

TACHIBANA ELETECH

東証第一部 (証券コード: 8159)
 本社/〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25 TEL: 06-6539-8800
 支社/東京・名古屋
 支店/東関東・北関東・神奈川・三河・北陸・三重・滋賀・南大阪・神戸・姫路・広島・四国・九州
 海外/香港・シンガポール・台湾・上海・韓国・タイ・インドネシア
 北京・深圳・武漢・大連・青島・マレーシア

<http://www.tachibana.co.jp/>



や、か、迅典をonサたを「ラるマon om ツイン6 23
ミ、プ、速を1 プービ。登ののポAm (9 日、
ュー、な、配年 プライ「録始のギマ (6
ジ、ラ、送間 プライ「すすのフz (6
ック、イ、特利用 Am「とのポAm (6
ク、ム、典ので z「のポAm (6
フオ、のほ、き、特 z「のポAm (6

セレスはポイント交換
Amazonプライムギフトコードへ
23日、セレス(3696)が続騰。ポイントサイトの「モッピー」でお財布.comで、Amazon.co.jp(アマゾン)で利用できる「Amazonプライムギフトコード」のポイント交換を開始すると発表し、登録すると会員サービス「Amazonプライム」の特典を1年間利用でき、迅速な配送特典のほか、プライムビデオやミュージック、フ

が、伸ズ
6月アイ(427日に東証マ(4388)が急

ソルクシズ提携先上場

24日、ソルクシズ(4284)が急伸。業務提携先のエ

自動車25%関税報道

24日、トヨタ自動車(7203)やホンダ(7267)を筆頭に自動車セクタ

オートなどのデジタル特典を追加料金なしで利用が可能で、ポイントサイトの利用拡大と収益貢献を期待した買いを集めた。

24日、ルネサンス(2378)が続騰。10日に発表した19年3月期連結業績で経

ルネサンス騰勢強める

24日、ルネサンス(2378)が続騰。

ルネサンスは14.08%を保有した買いが入った。

CREは株式分割
23日、シアールイー(3458)が急伸、最高値を更新した。同社は22日の取引終了後、7月31日現在の株主に対して1対2の株式分割を実施すると発表、これを好感している。

◎株は底値買で大きく取るべし・門外不出の大伸流底値買成功法あり

◎日経平均に関係なく最近の底値買指示銘柄例(よくお調べください)(5月25日)

- 住友不動産 →2500円前後買(紙上予告済み)→4480円に上昇、今後は?
- 千代田建設 →550~600円買(紙上予告済み)→1150円に上昇、今後は?
- 大日本住友薬 →1400~1500円買(紙上予告済み)→2202円に上昇、今後は?
- コニカミノルタ →900円前後買(紙上予告済み)1030円に上昇、一服後一段高へ
- O K K →1100円前後買(全員指示)1295円に上昇、一服後一段高へ
- 大 埼 電 気 →750~770円買(全員買指示)876円買に上昇、一服後一段高へ

◎当社の基本は大局倍化、当面5~6カ月50%高前後目標の投資の王道なり(迷える投資家は試見)

論より証拠・上記の如く底値大幅高予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり)(返信切手1000円要)

大伸経済研究社
田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員
会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込)
(会費が高い少数の会員制なり)(広告参照)
(1年後の成果に自信ありお試しください)
(電話等による入会勧誘は一切致しません)

公表銘柄は一例であり全てではありません
目標値は当社独自の分析による予想値です
有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00)
〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はここをクリック!](#)

企業観察

ハリマ化成G (4410)

12%営業増益は最低線

ハリマ化成グループ(4410)は収益強化策が着実に進んでいる。海外の粘着剤用樹脂と印刷インキ用樹脂のローター事業は年間2万トンの調達体制を整えずに17年からフル稼働。ロジン生産の際に採取される高採算のテレピン油を香料向けなどに販売を拡大しており、粘着剤はラベルシール向けに黄ばみを抑えた新製品を投入することで収益性を高めている。製紙用薬品は米国事業が再編淘汰が進み、収益体質が改善したところへFDA準拠のカゼイン(牛乳由来)を使わない高分子乳化剤

効率化、環境対応で収益力強化

投入により一気に収益力がアップ、紙力増強剤も同じくFDA認証PAM(ポリアクリルアミド)を投入、増加が見込める古紙再生ニーズに対応する。紙力増強剤は環境規制強化に伴い、中国でも引き合いが活発化、また、中国では山東省の製紙薬品新工場が夏に稼働する予定で、華東、華南に加え華北へのデリバリー体制が整い、まずは物流コストの効率化を見込む。電子材料は微細化対応で付加価値を高め、樹脂化成品は水性化で環境対応を推進、19年3月期予想の連結営業利益45億円(前期比12.2%増)は最低ラインのようだ。

今週の動意銘柄

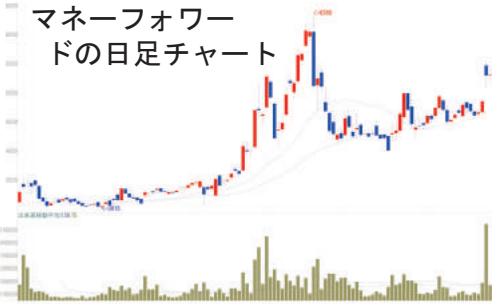
25日、石川製作所(6208)や豊和工業(6203)、細谷重工(4274)、重松製作所(7980)の防衛関連が買い進まれた。トランプ大統領が米朝首脳会談の中止を発表したことから、地政学リスクが意識されている。24日のニューヨーク市場でも、防衛関連が軒並み値を飛ばし、25日、スクロール(8005)が急伸、年初来高値を更新した。24日の取引終了後、4月度の月次売上高を発表、前年同月比24.1%増と大幅な増収となったことが好感された。

スクロール売上24%増

マネーフワード急騰

仮想通貨新会社を設立へ

24日、マネーフワード(3994)が急騰。マネーフワードのマネーフワードを設立すると発表したが、材料と仮想通貨に関するメ



仮想通貨の普及と実用化を目指すもので、今年夏頃にはブロックチェーン・仮想通貨関連のニュースや国内外の交換所の価格比較などを発信するメディア事業を開始する予定。

ソルガム虚偽記載

週末25日、ソルガム・ジャパン・ホルディングス(6636)がストップ安。有価証券報告書虚偽記載の疑いで、証券取引等監視委員会から強制調査を受けたと発表されたことを嫌気した売りがかさんだ。17年3月期の連結営業活動によるキャッシュ・フロー

43日対等日柄と11週サイクル

先週はトランプ大統領が自動車関税最大25%引き上げを検討や米朝首脳会談中止といった政治面での動きがあり、このところ沈静化していた保護貿易主義と地政学的リスクが再浮上してきました。このため先週の東京株式市場は9週ぶりに反落しました。週足は前週の陽線を陰線で包む陰線包み足となり、トレンド転換の可能性が出てきました。

今週は1月高値から3月安値の43日対等日柄が28日(月)に該当しますので、ここでサイクルボトムとなるのかどうか。更に下げの加速となった場合は11週サイクルに注目です。昨年4月安値以降は概ね10~12週サイクルで日経平均はトレンド変換しており、直近は3月安値から先週で9週が経過。今週から来週にかけて急落するならば、そこが買い場ではないかと考えます。



日々勇太郎

防衛関連買い進まれる

日本精線
(5659)

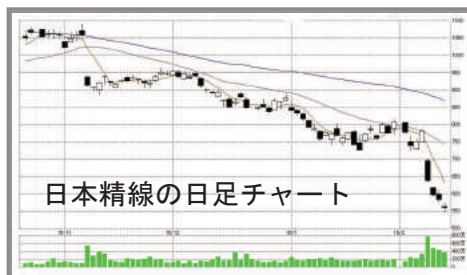
第14次中期計画を推進 19年3月期も増収増益見込む

日本精線(5659)はステンレス鋼線のトップメーカーで、ナスロン(金属繊維)などの高機能製品や高合金ワイヤなどの独自製品を供給している。

18年3月期連結決算は売上高374億5100万円(前の期比17.8%増)、営業利益40億4000万円(同56.4%増)、純利益28億1400万円(同58.9%増)と大幅な増益で着地した。ステンレス鋼線では高機能・独自製品の拡販に加え、自動車関連需要が好調に推移し、ニッケル価格変動に伴う販売価格引き上げ効果も表面化。金属繊維(ナスロン)もナスロンフィルターがポリエステルフィルム向けに加え、化合繊維向けや高機能樹脂用途についても堅調に推移、精密ガスフィルター(ナスクリン)も韓国や台湾での半導体メー

特選銘柄

カーを中心とした設備投資が引き続き好調に推移している。19年3月期は売上高で410億円(前期比9.5%増)、営業利益で42億円(同4.9%増)、純利益は29億4000万円(同4.5%増)と引き続き増収増益を見込む。加えて2020年度(2021年3月期)を目標最終年度とする第14次中期計画(NSR20)では高機能独自製品の上方弾力確保や新製品開発(次世代高機能独自製品の開発など)と新市場開拓、生産性向上と働き方改革、ガバナンス・コンプライアンスの充実、安全・環境対策の継続的推進の5項目を基本方針に掲げ、2021年3月期に連結売上高460億円を目指す方針だ。



売上高460億円目指す

～決算情報～

フジコー

19年3月期も増収増益へ 高機能製品開発進め海外で拡販

フジコー(3515)は19年3月期の連結業績について、売上高95億円(前期比4.4%増)、営業利益3億7000万円(同8.7%増)、最終利益3億円(同5.1%増)と前期に続いて増収増益を見込んだ。業績好調につき期末一括配当を65円(前期40円)へ増配を予定する。高機能不織布・フェルトの開発を進めるとともに、生産体制効率化や新製品開発によりコスト競争力を強化。海外ではベトナムのフェルト工場稼働に向けた整備を進め、環境・エネルギー資材や工業資材を拡販することでさらに業績を拡大する。

18年3月期は子会社の損益改善効果が大きく、売上高90億9700万円(前の期比1.9%増)、営業利益3億4000万円(同93.0%増)、最終利益2億8500万円(同58.9%増)と大幅増益で着地した。

英和

製造現場でのIoTに貢献

19年3月期3.4%営業増益見込む

英和(9857)の19年3月期の連結業績は、売上高で350億円(前期比1.8%増)、営業利益で11億円(同3.4%増)、純利益で6億9500万円(同5.2%減)を見込んでいる。

電力会社向けの販売が減少したものの、官公庁、鉄鋼製品製造業、電気機器・精密機器製造業、船用機器製造業向け等の販売が伸長したことにより、18年3月期は連結売上高で343億6700万円(前の期比4.5%増)、営業利益で10億6400万円(同6.9%増)、純利益で7億3300万円(同7.2%増)と増収増益で着地した。

IoTを始めとする製造現場での生産性向上への取組みに貢献すべく、システム・エンジニアリングやフィールドサービス対応力強化によるワンストップ提案営業を引き続き推進していく。

潮流

日本だけが標的に！

CTAのアルゴに翻弄されるな

marKet/bAnk

5月23日にヘッジファンド(CTA)などの短期筋が先物売りを膨らませた。

23日の日経平均先物の日中売買代金は1兆7282億円と、前日に比べほぼ倍増した。出来高も5万5100枚と前日の2万2720枚の2倍以上だ。この日、日経225先物は240円安で終えた。日経平均の急落の流れに追従して自動的に売買するCTA(商品投資顧問)による大口の売りが下げを増幅させた。

東証が23日発表した先物取引に伴う現物株の裁定買い残は2兆6895億円と3月下旬に比べ倍増。先物売りが増えると現物株の裁定解消の売りも膨らみやすくなっていた。24日も投機筋による売りが止まらなかった。24日の日経225先物は310円安い2万2410円だ。僅か2日間で650円も急落し、25日移動平均である2万2504円を割り込んだ。

日経225先物の出来高は4万5102枚と大商いだ。CTA(商品投資顧問)は「日経平均VIX指数買い・円買い・225先物売り」のプログラム売買を自動的に行うアルゴを利用して日経平均を急落させた。相場の変動率を示す日経平均ボラティリティー・インデックス(VIX)という言葉が頻繁に使われるようになったのは2月からの大幅な下げ相場の時だ。日本と米国

株式市場は「VIXショック」と呼ばれ、ヘッジファンドによる売り崩しが激しかった。

この時も「日経平均VIX指数買い・円買い・225先物売り」のプログラム売買が日本株式市場を襲った。5月

22日の日経平均VIX指数は14.21と今年1月中旬の水準と平常状態であった。しかし、24日には一時18.26まで急騰し、4月中旬以来の高水準を付けた。2月初めに日米で「VIXショック」が起きた時も、日経平均VIXが18を超えたところから相場変動率の上昇と株安の連鎖が始まった経緯がある。

しかし、今回は日本だけがCTAの標的にされて、米国市場でVIXは高まっていない。23日の米国VIX指数は12.58と22日の13.22からむしろ下落しているのだ。米中通商交渉や米朝首脳会談の開催をめぐる不透明感や加計学園の新文書問題など投資家を弱気にさせるニュースを機にヘッジファンド(CTA)は売りを仕掛けた。ゲーム感覚でアルゴを利用するCTAに翻弄されてはいけない。

潮流銘柄はリンクアンドモチベーション(2170)、エー・アンド・ディ(7745)、アルヒ(7198)。

を行う。http://marketbank.jp



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテス「第一回S1グランプリ」

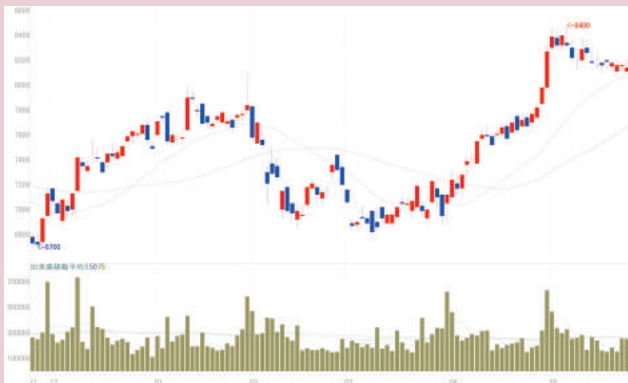
にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。

弱気なニュース機に仕掛け



チャートから読む 騰落銘柄

日本通運 (9062)



5月8日に8480円の高値更新後に調整していたが、8100円台で底堅くなる。全般軟調下でも落ち着いた動きで25日線の接近とともに再度上昇転換に期待。航空貨物輸出重量の拡大も下支え。

コジマ (7513)



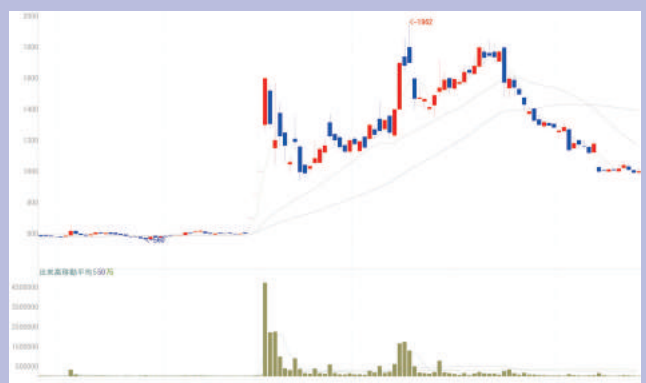
スピード調整完了、25日移動平均割れから急速に切り返し、年初来高値を更新。日足が再び陽転し一段高へ。今8月期38%増益を見込む好業績と信用倍率1倍割れの好取組が株価を押し上げる。

ウシオ電機 (6925)



5月10日に1599円を付けた後に調整、50日線を割れたことから戻りが鈍ければ、3月5日の年初来安値1374円が意識されそう。光源事業の利益率低下が懸念材料で業績の下ブレ懸念も。

RSC (4664)



3月に付けた年初来高値1962円と4月の戻り高値1840円で2点天井を形成、5日移動平均に上値を抑えられ下落が続く。日足陰転のあと26週線割れまで売り込まれ、一段安回避へ正念場。

今週の

活躍期待銘柄



トリドール (3397)

19年3月期は業績急回復

株価は5月15日に3835円まで上昇した後に値を崩していたが、3200円台で下げ止まる動きとなってきた。業績への不安は払拭しつつあり、好実態見直しからリバウンドの動きを期待したい。

18年3月期は2期連続の営業減益かつ計画未達となったものの、主力の「丸亀製麺」で3月に価格改定を実施したことに加えて、廃棄ロスや広告宣伝費率の低減策も実施しており、今後は利益率の改善が進んでいく。これにより、19年3月期は連結売上収益で1532億1300万円（前期比31.5%増）、営業利益で98億6500万円（同29.2%増）大幅な増収増益を見込んでいる。

都心部への出店を強化し、既存業態の更なる強化を図るとともに、新業態の育成、展開にも注力していく方針。

（と）
収益改善策の効果が表面化

トリドール（3397）の株価は5月15日に3835円まで上昇した後に値を崩していたが、3200円台で下げ止まる動きとなってきた。業績への不安は払拭しつつあり、好実態見直しからリバウンドの動きを期待したい。

18年3月期は2期連続の営業減益かつ計画未達となったものの、主力の「丸亀製麺」で3月に価格改定を実施したことに加えて、廃棄ロスや広告宣伝費率の低減策も実施しており、今後は利益率の改善が進んでいく。これにより、19年3月期は連結売上収益で1532億1300万円（前期比31.5%増）、営業利益で98億6500万円（同29.2%増）大幅な増収増益を見込んでいる。

都心部への出店を強化し、既存業態の更なる強化を図るとともに、新業態の育成、展開にも注力していく方針。



UTグループ (2146)

大幅増収益で最高業績続く

顧客企業社員の転籍受入れと製造一括請負を同時に行う「インハウスソリューション」や海外人材の紹介・管理代行など新分野の開拓も進み、収益上積みも期待できそうだ。

（き）
大人数派遣と新分野開拓も

UTグループ（2146）は2月に付けた最高値を上抜き、一段高を志向してきた。無期雇用による製造派遣事業とエンジニア事業が2本柱で、スマートフォンや車載機器向け半導体・電子部品分野に加え、自動車関連分野でも大人数派遣が進展、製造オペレーターを設計・開発エンジニアへキャリアチェンジすることで、エンジニアリングも成長軌道に乗せており、収益拡大ピッチが加速してきた。

19年3月期も連結売上高1000億円（前期比22.3%増）、営業利益70億円（同34.7%増）、と前期に続いて大幅増収増益で最高業績更新を見込む。

値幅調整一気に進む!

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

5月第4週の東京市場は大きく荒れる展開になりました。この欄を執筆している24日は、日経平均が前日の大幅安に続いて、更に、一段安となり、一時2万2300円台まで売られました。

全般調整色が強まる中、米国内で自動車や部品がどのような影響を及ぼしているかを調査する、と伝わったことで自動車関連がマツダをはじめ大きく売られました。円相場が1ドル109円台まで円高が進み、輸出系全般にも売りが広がり、日経平均は大きく下げる結果に

新田ゼラいずれ火を噴く

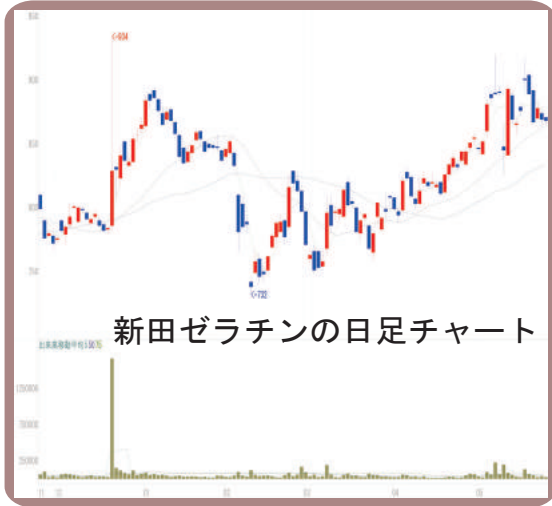
産、食品、介護などの内需系が値を保っていました。当初は下値を2万2600円前後とみていましたが、自動車関連にタイミングが悪く米国の輸入規制懸念が急速に台頭したことで、その下値のメドを大きく下回るという結果になりました。しかし、この急速な下げで逆に値幅調整は一気に進むことになりましたので、ここからの一段安は銘柄を絞って拾う作戦を断行することです。

筆者は新田ゼラチン(4977)の十分な含み益をバックにして、狙いを定めた日本板硝子(5202)、双日(2768)の下落場面に打診買いを入れました。また、大紀アルミ工業所(5702)も寄り付きの気配の悪化をみて、半分を処分して下げに対応できるようにしました。

アルミが自動車関連ということもあって、実態以上に大きく下げましたので、760円台でとりあえずナンピンを入れました。東洋機械金属(6201)も手持ちを減らして待機しています。新田ゼラチンは下げには強いことが大きな余力になり、いずれ、

なりました。わざわざ買われた業種は医薬品やJR東海など電鉄の一部で、水

戻す可能性の高いこうした銘柄に絞って拾い始めたというわけです。更なる下げがあれば板硝子、双日、大紀アルミのナンピン買いは有効とと思っています。新田ゼラチンは引き続き上値を見込める見通しが強く、低迷している間に更に、追撃買いも決して悪いことはありません。もたもたしている局面になれば拾う作戦を断行できる銘柄です。いずれ火を噴く動きによって、この銘柄を持続しておいてよかったです。いえる日が到来しますので、お待ちください。



高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市場情報
れでどや!!
http://www.kabun-takano.com/
毎日情報を配信中!

星野三太郎の 株街往来

～小さく生まれて
大きく育つ～

ルカリ(4385)だろう。スマホのカメラで商品撮影して気軽に出品ができるフリマアプリは、出品する側は不要な物を処分、買う側は必要な物を安く買えたりするから、この数年で人々の生活に定着してきた。便利な半面で盗品の出品などに様々な問題も表面化して、これが上場の足枷となっていたようだが、トラブル防止策が整備されての上場決定になったのだろう。

不要な物を販売という意味合いでは、少しばかり意味合いが異なるが、昨年12月12日に東証1部へ上場したカチタス(8919)が公開価格16400円に対して初値1665円で、現在の株価は4000円を超えた場面があった。小さく生まれても、投資家や消費者がその後を評価すれば初値から株価は倍増にもなる。今回のメルカリの株価形成はどうなるか？

それには知名度以外にも中長期的な成長力が示されかも重要になる。



4



New product

**TOA DSPアンプなど初公開
東京国際消防防災展に出展**

万が一の犯罪・災害対策から日常生活での備えまで
防犯防災総合展
in KANSAI 2018 CRIME AND DISASTER PREVENTION

TOA(6809)は、5月31日から東京ビッグサイトで開催される「東京国際消防防災展2018」に出展する。この展示会は5年に一度開催される消防防災に関する国内最大級の展示会。同社は、緊急情報をより遠く、より多くの人へ届け、社会の安全・安心を守ることを目的とする製品やサービスを展示する。

中でも注目されるのは、今回初公開となる中型ホーンアレイスピーカーと、防災用DSPアンプ。中型ホーンアレイスピーカーは、現在190以上の自治体を中心に、さまざまな場所で活用されている防災用高性能スピーカーの新商品。また、防災用DSPアンプは、防災用高性能スピーカーとともに使用するうえで最適なレベル調整、イコライザー機能を搭載した高効率アンプとなっている。

北京で慢性期疾患治療

日本トリム

フラッグシップ病院が開業

慢性期疾患治療の
フラッグシップ病院



日本トリム(6788)は100%出資のトリムメディカル

ホールディングスを通じて再生・修復医療及び生殖医療(不妊治療)分野、そして、グローバルに事業展開している。

慢性期疾患治療のフラッグシップ病院は、北京に開業した。この病院は、日本式の糖尿病チーム医療(医師による総合指導、薬剤師、管理栄養士による指導)に加え、日本トリムの開発した電解水透析をベースとした最高品質の人工透析治療、また日本式リハビリテーションをパッケージ化した専門病院。日本での研修も取り入れた人材育成プログラムにより、主要10都市への展開を計画している。

企業レター

画しているが、新たに中国の北京市において、慢性期疾患治療のフラッグシップ病院が開業、5月9日に、関係者の出席のもと開院式を実施した。

下値固めの展開

OP証拠金管理に注意必要

敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

先週の日経平均は水曜日の10時頃から売り仕掛けにより相場は崩れ、木曜日のイブニング取引では2万2080円まで下落、3日間連続で約9000円動いた。売り仕掛けの材料はトルコリラの暴落や加計学園問題の再燃などが言われているが、主因は米朝首脳会談の中止だったようである。日経平均はそれまでに8週連続で上昇していたため、一服し易い状況であったとも言えよう。

結果、高値は2万3050円39銭で、2月2日の2万3122円45銭の窓埋めを出来ずに下落に転じている。上昇の下値支持ラインであった一目均衡表の転換線(25日現在2万2684円)を下回ってきており、短期的な上昇チャートは崩れただろう。

東証が発表している投資

下値メドは週足ボリンジ

先週の日経平均は水曜日の10時頃から売り仕掛けにより相場は崩れ、木曜日のイブニング取引では2万2080円まで下落、3日間連続で約9000円動いた。売り仕掛けの材料はトルコリラの暴落や加計学園問題の再燃などが言われているが、主因は米朝首脳会談の中止だったようである。日経平均はそれまでに8週連続で上昇していたため、一服し易い状況であったとも言えよう。

結果、高値は2万3050円39銭で、2月2日の2万3122円45銭の窓埋めを出来ずに下落に転じている。上昇の下値支持ラインであった一目均衡表の転換線(25日現在2万2684円)を下回ってきており、短期的な上昇チャートは崩れただろう。

東証が発表している投資

今週のスケジュール

- ・ 25日 独5月Ifo景況感指数(17:00)
- ・ 26日 日口首脳会談
- ・ 28日 4月企業向けサービス価格指数(8:50)
- ・ 29日 4月労働力調査・有効求人倍率(8:30)
米5月CB消費者信頼感指数(23:00)
- ・ 30日 4月商業動態統計(8:50)
5月消費動向調査(14:00)
米5月ADP雇用統計(21:15)
米1-3月期GDP改定値(21:30)
- ・ 31日 4月鉱工業生産(8:50)
中国5月製造業PMI(10:00)
- ・ 1日 1-3月期法人企業統計(8:50)
5月新車販売台数(14:00)
アジア安全保障会議(~3日シンガポール)
米5月雇用統計(21:30)
米5月ISM製造業景況指数(23:00)

先週の木曜日のイブニング取引で一時2万2080円まで入っており、6月のメジャーSQまでの何処かでこの水準を試しに行く状況になりそうである。今週のレンジは2万2700円から2万2100円と予想する。動きが開始したので、オプションの証拠金管理には注意が必要である。(ハチロク)

編集後記

日大アメフトの反則行為で話題がもちきりだった。選手は指示ととらえる一方、監督、コーチは言葉の取り違えとしていたが、試合の一部始終や会見の様子を見ていながら、指示があつたとしても思えない。ただ、真意のほどは別として、間違つた指導がこれから育つ若い才能の芽を摘んだことは間違いない。日本代表にまで召集された選手だった。仕掛けられた売買で時としていびつな価格形成をするのは東京市場のいつもの光景だが、健全な証券市場発展には新しいルール、危機管理が必要かもしれない。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。